

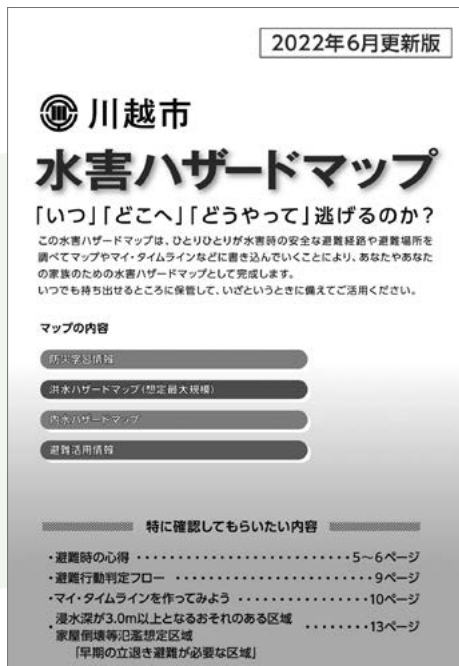
# 日ごろからできる準備

## ハザードマップの確認

### ■早期の立ち退き避難が必要な区域の確認

川越市水害ハザードマップには、浸水が想定される区域や水害時の危険箇所が掲載されています。

特に想定浸水深が3m以上の「浸水想定区域」や「家屋倒壊等はん濫想定区域」は早期の立ち退き避難が必要な区域のため、必ず確認してください。



### ■水害時の一時避難場所

指定避難所ではありませんが、水害時における一時的な避難場所として次の場所を利用することができます。

- メルト(鯨井1556-1)
- ジョイフル(今福1295-2)
- 川越運動公園総合体育館(下老袋388-1)
- 城北埼玉学園体育館・武道館(古市場585-1)

\* 開設した際は、指定避難所の開設情報とともにお知らせします。

## 水害ハザードマップの配布

川越市水害ハザードマップ(2018年12月全戸配布)の内容を更新した「2022年6月最新版」をこの広報川越と同時に全戸配布します。主な更新内容は、県管理河川(新河岸川、入間川の一部区間等)に関わる洪水浸水想定区域図(想定最大規模)等の公表による洪水ハザードマップ(想定最大規模)の更新や防災学習情報の充実です。

詳しくは配布物、市ホームページを確認するか、河川課 ☎224-6041 ☎224-8804にお尋ねください。



# 風水害への備え

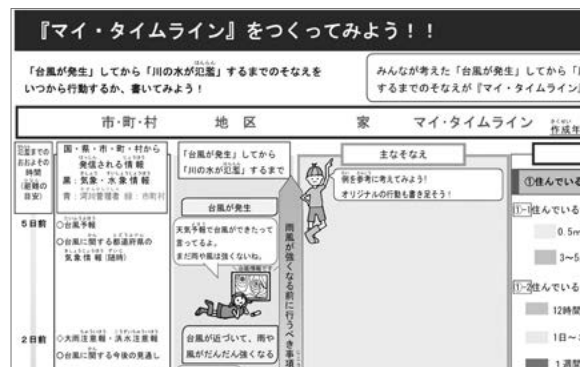
台風や集中豪雨で、河川の氾濫などの災害が発生することがあります。

日ごろから風水害への知識を身に付け、いざというときのために備えることが大切です。

防災危機管理室 ☎224-5554  
☎225-2895

## 「マイ・タイムライン」の作成

マイ・タイムラインとは、これから起こるかもしれない水害等に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせた自分自身の避難計画です。あらかじめ時系列に沿って「いつ」「誰が」「何をするか」決めることで、いざというときに慌てず、安全な避難への手助けになります。



マイ・タイムラインは、市ホームページからダウンロードできます

## 川越市防災情報メール

災害関連情報や防災に関する情報をメールでお届けします。

登録は無料です。



登録はコチラから

## 土のうステーションの確認

浸水への応急対策として、土のうステーション(簡易土のう置き場)を、寺尾地区などに設置しています。必要に応じてお持ちください(返却不可)。詳しくは、道路環境整備課 ☎224-6029 ☎222-6017にお尋ねください。



## 避難のポイント

避難とは「難を避ける」こと、つまり安全を確保することであり、避難行動には次の3種類があります。

なお、安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません。

### 分散避難の検討

避難先は、避難所だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも検討してください。

### ■ 立ち退き避難

避難所等の安全な場所に避難することであり、避難行動の基本です。

\*豪雨時の屋外移動は車も含め危険です。早めの行動を心がけましょう。



### ■ 屋内安全確保

浸水の危険があっても、①洪水により家屋倒壊のおそれが高い区域に入っていない、②浸水する高さよりも高いところにいる、③水・食糧などの備えが十分あり、浸水しても水がひくまで我慢できる場合は、自宅の上階にとどまって安全を確保することも可能です。

\*①、②はハザードマップで確認できます。



### ■ 緊急安全確保

災害が発生・切迫し、立ち退き避難を安全にできなかった場合に、命の危険から身の安全を可能な限り確保するため、今居る場所よりも相対的に安全である場所に直ちに移動することです。

具体的には、緊急的に近くの堅固な建物へ退避することや、屋内の少しでも浸水しにくい高い場所に移動することなどが挙げられます。

## 風水害が発生したら

- 気象情報(テレビ・ラジオ等)や市などからの情報に注意しましょう
- 近所に住む高齢者や障害のある方に声を掛け、情報を伝えましょう
- 増水した河川等、危険な場所には絶対に近づかないください

## 「避難指示」で必ず避難!

警戒レベル	避難情報等	とるべき行動
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保!
〜<警戒レベル4までに必ず避難!>〜		
4	避難指示	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難
2	大雨・洪水注意報	自らの避難行動 を確認
1	早期注意情報	災害への心構えを 高める

\*警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。

## 避難所での新型コロナウィルス感染症対策

市では、定期的な換気や過密状態を防ぐよう対策を行います。

人が集まる避難所で少しでも感染リスクを上げるためには、避難者自身の協力が不可欠です。

避難所では、必ずマスクを着用するとともに、必要な物はできるだけ事前に自身で用意してください。

## ペットの同行避難について

市で開設する全ての避難所でペットを連れた避難者を受け入れています。

避難する場合には必ずケージ等に入れ、ペット用の食料、リード、トイレ用品など飼養に必要なものを持参してください。

\*居住スペースとは別の「ペット専用スペース」で飼養してください。



ペットの  
同行避難



人とペットの  
災害対策

Check!